

令和8年度 第2回 県居小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年7月27日(月)13時30分から14時35分まで
- 2 開催場所 県居小学校 音楽室
- 3 出席委員 本多 正明、早川 大介、中村 恵美子、稲垣 美世子、河村 恵子、仲道 有美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 県居協働センター 和田 祐哉
- 6 学校支援コーディネーター 黒田 雅美
- 7 学 校 鈴木彰一(校長)、北村のぞみ(教頭)、鈴木克幸(教務主任)、石崎慶子(CSディレクター)、
他教職員13名
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 石崎慶子

10 議長の選出

司会の稲垣会長から、前回協議通り本多委員にお願いする旨確認し、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 中間評価を受けた2学期以降の改善策について
- (2) グループ討議を受けての全体熟議

12 会議記録

司会の稲垣会長から、委員総数6人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 中間評価を受けた2学期以降の改善策について

委員と学校教職員がグループになり、学校評価(中間)の結果に基づき、教職員が予め分析した結果や課題、及び改善策について、熟議を行った。

【学びグループ:本多委員、河村委員、黒田コーディネーター、教員4名】

○重点項目:個に応じた支援の充実

個人の見取りと対応が大切であり、学校として重点的にやるべきである。この部分にICTの活用が役に立つのではないかと。また、こどもたちは思いを表現しきれていないところがある。表現力を磨けるよう支援していきたい。

○重点項目:豊かな知性と感性を伸ばす読書活動

児童も教職員も、学校では読んでいると考えているが、保護者にはそう見えていない。家庭での読書の時間を取るよう声掛けしていきたい。

【笑顔グループ:早川委員、仲道委員、教員5名】

○重点項目:進んで気持ちのよいあいさつができる子の育成

児童と、保護者や教職員との数値のギャップが大きい。「気持ちのよいあいさつ」に認識の差があるように思える。声の大きさ・正しい挨拶の仕方を伝えていく。グータッチなど軽いスキンシップを交えた挨拶も効果的ではないかと。また、登下校を見守ってくれている地域の方々への挨拶についてはもっと学校での声掛けが必要ではないかと。

○重点項目：認め合える学級づくり

児童の1割が安心してきていないという結果が出ている。単級の学年が増えており、クラス替えもないため、先の不安を感じている児童もいると思う。単級の支援・対策が必要ではないか。また、学年が上がるにつれて人間関係づくりが難しくなってくる部分へのアプローチも必要と感じる。心のケアについては、学校だけではなく、保護者の協力が何よりも必要である。

【元気グループ：稲垣委員、中村委員、教員4名】

○重点項目：情報モラル教育の推進

保護者と児童との認識のギャップが大きい。保護者は家庭での様子しかわからないため、学校でおこなっている情報モラル教育について、保護者に対して発信していく必要がある。

○重点項目：保健指導

意識はしているが、多忙など家庭の事情により指導ができていない家庭もあると考えられる。学校においても、例えばすごろくのようにゲーム性を取り入れて指導するなど工夫していきたい。

(2) グループ討議を受けての全体熟議

- ・ 手の届くところにどれだけ本があるかで読書量が変わってくると聞いた。実践してみると違うのではないかと。(中村委員)
- ・ 子どもたちは本が嫌いなわけではない。家庭生活の中に読書の時間を入れるのが難しい家庭もある。朝読書など、学校において読書の機会があるのはよい。(河村委員)
- ・ インターネットにおいても動画が主流となり活字離れが進んでいる。読書としては漫画でもよいと思っている。(本多委員)
- ・ 本を読む理由を見つけて本当に好きな本を見つけるところから読書がスタートすると思う。学校において、理由を見つける活動ができるとよい。(早川委員)
- ・ 家族が読書をしていれば、子供も読書習慣がつくと思う。読書週間などを通じて、親子の取り組みとして読書をしていくのはよい。(仲道委員)
- ・ 夏休みに借りてきた本を保護者に見せるだけでも、意識が違ってくるかと思う。(稲垣委員)
- ・ 登校時、高学年であっても、すれ違う子供はみんな挨拶をしてくれる。(河村委員)

オブザーバー和田さんより

- ・ 和歌を掲示しているが、絵や習字などの作品も年間を通して掲示できる。自分の作品が掲示されることで自己肯定感が高まると思うので、利用していただきたい。
- ・ 小学生の居場所づくり事業を8月から12月に実施する。西小の児童も来るため、人間関係も広がり地域に飛び込むきっかけにもなる。教職員もぜひ様子を見にきていただきたい。
- ・ ロビーを改修して広くなった。宿題だけではなく、クールスポットとしてぜひ遊びに来ていただきたい。

コーディネーター黒田さんより

- ・ 単級も増え、教職員の数も減っている。個人の見取りが重要な中で、個々に合わせたドリルパークの活用なども考えていければよい。

13 報告

学校支援コーディネーターの仲道さんより、県居サポーターの活動報告があった。

- ・ すみたん学級の裁縫では、昨年以上に地域の方に多く参加していただけて手厚くサポートできた。2学期も、すみた

ん、5・6年でミシンがあるため、サポーターを募集する。

- ・ 10 月には草取りを考えており、サポーター登録していない地域の方々にも声をかけていく。
- 学校支援コーディネーターの黒田さんより、1学期の図書ボランティアの活動報告があった。
- ・ 読み聞かせは計 10 回行い、延べ 76 名が参加した。
 - ・ 図書環境整備は計 5 回行い、延べ 36 名が参加した。
 - ・ おはメロは 7/1 に行い、13名が参加した。
 - ・ 和歌展示は、6/23 に6名で行い、7/28 は5名行う。

その他連絡事項

北村教頭から、次回会議は、令和8年11月19日(木)9:30より、県居小会議室で開催する旨の連絡があった。当日は授業参観もあり、児童の休み時間や授業での様子も見ていただく。